

【会議録】

会議名	第3回赤坂・青山でつながり隊運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年2月19日（月）午前9時30分から午前11時00分まで
開催場所	赤坂地区総合支所2階大会議室
委員	出席者 5名 新宮委員長、坂本副委員長、河本委員、中村委員、木下委員 欠席者 なし
事務局	赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 中澤係長 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進課係 牟田
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 A事業者 30分 4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について 5 その他 6 閉会
配付資料	資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査表 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配付） 資料4 第2回選考委員会議録 参考資料 第一次審査集計結果
会議の結果及び主要な発言	
(発言者)	
委員長 事務局	1 開会 (開会の挨拶) (事務局から配付資料について確認)
事務局	2 第二次審査実施概要について (事務局から資料1について説明)
B委員	3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 (A事業者によるプレゼンテーション) <u>A事業者への質疑応答</u> 赤坂・青山地域への理解が重要だと思っています。プレゼンテーションの中では赤坂地区版計画書に記載されている内容をお話いただきましたが、それ以外現時点で把握している内容はありますか。
A事業者	赤坂・青山地域の特徴としては、在勤者が増えていること、地域への愛着をもって

	<p>いる人が多いことが挙げられます。また、地域の方の声として「集まる場所がない」「若い世代、在勤者が地域に興味を持たない」など聞いたことがあります。こういった内容について、次年度のヒアリングやアンケートの際に把握していきたいと思っています。</p>
B 委員	<p>課題解決策について、若い世代に向けた視点や情報交換の際にオンラインツールを活用していくという提案がありましたが、もう少し具体的に教えてほしいです。</p>
A 事業者	<p>提案書中3つ目の取組として記載していた「コトの見直し」のようにまずは活動自体を持続させることが必要だと思います。その上でこういった形で情報発信していくについては、LINE のオープンチャット等もあるので、関わりの深さによって活用するツールを検討していきたいと思っています。</p>
C 委員	<p>ネイバーフッドデザインの手法を使った品川区防災協議会のイベントについて、成功事例を教えてください。</p>
A 事業者	<p>単発の関わりだったので、調査を綿密に行ったわけではなく、あくまで「コトの見直し」を中心に行いました。</p> <p>今回の「赤坂・青山でつながり隊」に沿った事例で申し上げますと、まずは調査をしっかりと行うことが重要で、横浜市の陽光台団地のお話をさせていただきます。こちらは、再開発によってできたのですが、新しい住民と昔から住んでいる住民とでこの地域では何が必要か、実際に住民の方に話を伺いました。</p> <p>その結果、食を通じたコミュニティ形成の要望があり、現在はシェアキッチンを立ち上げるための運営準備を進めている状況です。</p>
C 委員	<p>横浜市の陽光台団地の件は、もともと課題が明確だったのか、それとも調査をした結果分かったことでしょうか。</p>
A 事業者	<p>調査をした結果、解決策を導きだした事例です。</p>
C 委員	<p>今回の事業は調査、アンケートを実施するかと思いますが、これまでの実績を踏まえてどのような視点で調査の対象を選んでいるか教えてください。</p>
A 事業者	<p>既存で活動されている町会・自治会のみならず、このような団体に所属していない方に対しても効率よく回答いただくように、インターネット上にアンケートフォームを作成し、集計することも考えられます。</p> <p>アンケートの設問に関しても、答えやすいように「はい・いいえ」での回答を増やすなど工夫するよう考えています。</p> <p>その回答内容をもとに、より深堀するためにヒアリングを行います。</p>
C 委員	<p>在勤者へのアンケートの実施は考えていますか。</p>
A 事業者	<p>まずは在住者を優先して実施する予定ですが、在勤者にも活動に関わってもらい</p>

	たいので、設問を変えた上で実施を検討します。
D 委員	課題解決に向けた提案について、提案いただいている内容を令和6年度に実施し、その後はイベントを行うという認識で間違いないでしょうか。
A 事業者	調査を主流で行い、具体的にどのようなことを行うべきか検討します。
D 委員	解決策の終着がイベントである理由を教えてください。
A 事業者	イベントで地域に関わってくれる方を見つけることも目的の一つとしています。日頃から地域に関わりがない方にイベントに参加してもらい、楽しいと思ってもらい、仲間になってもらえそうな人を見つけることを裏の目的としています。
D 委員	これまでの実績を踏まえ、今回の事業を行う上で特に気を付けなければならないことはありますか。
A 事業者	一つに絞ることは難しいですが、提案させていただいている「ヒト（関わり方）の見直し」「ハコ（組織体）の見直し」「コト（活動内容）の見直し」「情報（広報）の見直し」の全てを遂行することが重要だと考えます。 ヒトを見つけたところで運営する組織がなければ続かないように、全てに渡って相関していると考えます。
E 委員	これまで事業を行ってきた中で、困難事例があれば教えてください。
A 事業者	先程ご紹介した横浜市の陽光台団地にかかる事業の中で、最終的には食を通じたコミュニティづくりにまとまったのですが、それまでに先に計画が先行してしまったことがありました。 「マチマド」という住民同士の情報交換の場があるのですが、住民自身が「マチマド」の存在を知らず、うまく活用されませんでした。 我々が中に入り、「マチマド」の意義を説明しながら、改善していきました。
A 委員	町会・自治会の存在目的や活動内容を再度整理するとのことだが、現時点でどのようなイメージを持っているか教えてください。
A 事業者	地域を自治する団体は必要であり、それが結果として町会・自治会等地域団体ができているかと思いますが、赤坂・青山地域の特徴を踏まえて例えば防災の観点で日頃から在住者とのつながりを持ちたいと在勤者からの声が挙がることもあると思います。在住者・在勤者・在学者を全て包含できる体制でまとめていくイメージです。
A 委員	町会・自治会が主催で行っている様々なイベントの内容を変えていくという意味ではないですか。

A事業者	場合によっては変えていく必要があると思っています。イベント毎に目的も違うので、改めて防災の観点を入れたいという声があれば調整するなど、今あるものを大切にしていきつつ、新しいものを追加することもあり得ると思います。
A委員	現在のイベントをバージョンアップさせていくイメージですか。
A事業者	バージョンアップだけでなく、場合によっては主催団体の意向があればイベントを無くすこともイメージしています。 イベントによっては継続してやっているが、目的が薄くなっているものもあるかもしれないので、そういったイベントの目的を明確化することも必要だと思っています。
E委員	提案いただいている情報の見直しについて、地域情報誌 MY タウン赤坂青山との棲み分けについて教えてください。
A事業者	提案させていただいているのは、エリアを絞ったものになっていますので、相互に連携ができるような形が理想だと思っています。
C委員	コアメンバーをどういう形で集めようとイメージしていますか。
A事業者	赤坂地区協働推進課の担当の方の協力を仰ぎたいと思っています。この方だったら協力してくれそうなどの情報をいただいてアプローチしていくことをイメージしています。 ヒアリングでお話する機会もあるので、その中でニーズを把握し場合によってはお声がけさせていただくことも視野に入れています。
	<p>4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について</p> <p><u>採点結果の報告</u></p> <p>評価点は、選考の目安である6割を超えています。</p> <p>(事務局から報告)</p> <p><u>各委員から講評</u></p>
B委員	赤坂・青山地域の特性の理解が普通だと感じました。 過去の実績を踏まえたプレゼン、柔軟な対応も期待できました。 こちらの質問に対しても柔軟な発想を持って回答していました。 アンケートの工夫についても評価しました。
C委員	過去の実績を具体的に紹介してもらい、丁寧な対応をしていると感じました。 提案の発展性について、コアメンバーへの声かけの部分で発展性が少々不足していると思いました。 意欲・積極性について、実績も豊富なので評価できます。

D 委員	<p>過去の実績を踏まえた成功例・困難例をもとに、提案の実現性は評価できます。提案の発展性・継続性については、イベントを行って終わるイメージが拭えないので、今後事業を行っていく中で工夫が必要だと思いました。</p> <p>地域の解決に向けた住民との関わりも問題ないと思いました。</p> <p>住民との話し合いの中できっかけを引き出している印象を持ちました。</p>
E 委員	<p>答えに正解ない中で、問題なく質疑応答していたと思います。</p> <p>地域住民との関わりは今後の対応になりますが、任せても大丈夫だと思いました。</p> <p>プレゼンテーション、ヒアリング対応は2名でしたが、状況によって補足に入っていたのでチームワークも良いと思いました。</p> <p>プレゼンテーションのはじめは担当者の自己紹介はあった方がいいと思いました。</p>
A 委員	<p>事業が成功するかどうかは、地域住民とうまく関わっていける担当者かどうかその人柄が大事だと思いますが、その点問題ないと思いました。</p>
委員長	<p>講評を聞いたうえで、採点の変更はありますか。</p> <p>(委員一同、変更なし)</p> <p>審査の結果、A事業者を委託事業候補者と決定します。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p> <p>5 その他 (事務局より今後のスケジュールについて説明)</p> <p>6 閉会 (閉会の挨拶)</p>